

津田左右吉物語

第26回

左右吉をとりまく人々

(天野貞祐博士・文化功労者・

元文相・京都大学名誉教授)

尾関公見先生(当

時下米田小学校長)

は、東京の左右吉宅
に一週間滞在して、
老いてますます学問
に精励している左右
吉とともに過ごしました。

この時、近くに住んでいる天野貞祐博士が左
右吉の獨協中学での教え子であることを聞いて、
帰途天野博士を訪ねました。哲学者(カント西
田哲学の研究)として有名な天野氏は、中学時
代の師、左右吉について多くを語り、その中で
「先生はチョーク一本のみ教室に持参され、教材
はすべて自分で考えられ、教科書はほとんど使
用されず…。当時(明治末年)中学で憲法を教
えられたのは津田先生だけではなかったか、そ
の卓見には驚くばかりです…」と話され、尾関
先生は記念に「学徳高き津田博士」という色紙
をもらいました。

この揮毫は、今、下米
田小学校校庭に建つ左右
吉の胸像正面にある銘板
に刻み込まれています。

この色紙から左右吉を
尊敬してやまなかった天
野博士の心情が伝わって
きます。



▶ 津田左右吉博士の胸像
下米田小学校